

マイ大阪ガス



デレーケさん（左）と、同じく来日した工師のエッセルさん（右）
国土交通省 淀川資料館 提供

大阪港や淀川の改修などを任されたデレーケさんは、まず淀川や木津川の調査を行いました。木津川の上流にあたるこの不動川まで調査にやってきたデレーケさんは、崩れたはげ山から流出している土砂の量にびっくり。ただちに山からの土砂流出を食い止めるための砂防が必要だと、政府に意見書を提出し、それが認められます。その後、日本で初めてヨーロッパ式の近代砂防技術を取り入れた堰堤づくりに着手したのが、デレーケ堰堤のあるこの場所だったのです。

デレーケさんは、はげ山にわらを差し込んだり植林などをして、土砂留めを行いつつ堰堤づくりを進めます。西洋の技術に日本古来の工法も取り入れながら、不動川で様々な種類の試験的な砂防工事を行いました。現在も数基の堰堤が補修整備されて公園内に残っています。